

令和5年  
伊豆市議会 12月定例会

一 般 質 問

令和5年 12月

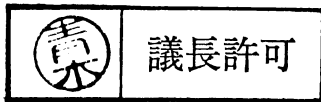
## 令和5年伊豆市議会12月定例会一般質問者と質問事項

### 12月4日（月）午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
1	11. 波多野 靖明	1 美術館建設について	市 長 教育長	1
		2 伊豆市の観光施策について	市 長	4
2	10. 間野 みどり	1 地域に残る文化の伝承を守りませんか	市 長 教育長	6
		2 昔の災害地の見直しを	市 長	7
3	3. 鈴木 優治	修善寺地区4小学校の再編について	市 長 教育長	9
4	15. 永岡 康司	松原公園指定管理について	市 長	11
5	8. 星谷 和馬	公共施設のあり方	市 長	13

### 12月5日（火）午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
6	14. 三田 忠男	伊豆市の未来に向けた政策の進展状況や新たな事業展開について	市 長 教育長	14
7	4. 飯田 大	「クリーンセンターいず」と燃やせるゴミ処理の実態について	市 長	16
8	5. 黒須 淳美	伊豆市の次代を担う子どもたちのために新中学校（伊豆中学校）を含めた市内の学校の教育環境づくりをどのように考えますか	市 長 教育長	18
9	12. 小長谷 順二	1 特殊詐欺やフィッシング詐欺等の現状と課題	市 長 教育長	20
		2 市制20周年を迎えるにあたっての所感は	市 長	21
		3 2024年問題にどう向き合うか	市 長	
10	16. 杉山 誠	1 物価高騰から市民生活や事業者を守る取り組みについて	市 長	22
		2 当市におけるGIGAスクールの課題と対策	教育長	23
		3 市民の利便性向上のための窓口改革「書かない・行かない窓口」の推進について	市 長	24



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 11月 16日

伊豆市議会議長 様

議席番号 11 議員名 波多野 靖明

No. 1

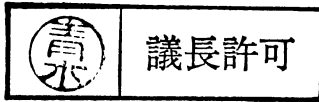
発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 ( <input checked="" type="checkbox"/> 一括 ・ 分割 ) ※発言予定時間 ( 20分 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 30分 ) ②質疑 ③討論 ( 反対 ・ 賛成 ) ④その他 ( )	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 美術館建設について	<p>伊豆市では<sup>なつめそうせき</sup>夏目漱石や<sup>いのうえやすし</sup>井上靖、<sup>かわばなやすなり</sup>川端康成など多くの文豪が着目をされております。文豪にさることながら<sup>やすだりまひこ</sup>安田靉彦、<sup>こいでたいくわん</sup>横山大観、<sup>いまむらむらこ</sup>今村紫紅、<sup>かわばなりゅうし</sup>川端龍子など、多くの日本画家もまた、伊豆市に滞在し様々な素晴らしい作品を残しています。その作品の数々は、東京国立博物館などでも展示・所蔵されており、日本の近代美術史においてなくてはならない存在で、国内においても非常に価値のあるものと理解しております。</p> <p>平成 26 年に有識者による「伊豆市美術館建設準備委員会」を立ち上げ、美術館基本構想の策定に向けての取り組みが始まり、「伊豆市美術館建設に向けた取り組みについて」という資料には、伊豆市における美術品について様々な議論や市民フォーラムなどを行った経緯の記載があり、非常に熱意のある思いがつつられております。</p> <p>また、伊豆市第 2 次総合計画の位置づけとしても、基本方針が「自然・歴史・文化が薫る誇りと活力に満ちた伊豆半島の新基軸 (クロスロード)」となっており、ホームページには伊豆市独自の文化振興施策の取り組みも重要課題、総合計画の前期基本計画には「伊豆市所蔵の美術品などの公開と美術館建設に向けた計画策定」が明記されており、伊豆市の宝、郷土の宝である美術品を大切に保管すると共に、「伊豆びと」を育てるという観点からも、次世代へその価</p>	市長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>値を正しく理解する。また、新たな観光拠点として美術館建設は伊豆市の今後に大きな影響をもたらすものと考えますが、現在は何のような進捗状況になっているのでしょうか。</p> <p>伊豆市美術館基本構想答申書、市民フォーラムの記述内容には、美術館建設の重要性が強く読み取れます。現在、伊豆市ホームページでは「美術館単独での建設は建設費やランニングコスト等の面から、伊豆市の財政的に困難であるため、民間活力による美術館機能を備えた複合施設の検討を進めております。」と結ばれております。そこで、以下について質問致します。</p> <p>① 協議された今まで6年の間のいつのタイミングで財政的に困難であると判断されたのでしょうか。</p> <p>② 具体的にどのような複合施設を検討中なのでしょうか。</p> <p>③ 具体的に民間との話は進んでいるのでしょうか。</p> <p>④ 建設予定には候補地があがっているのでしょうか。</p> <p>⑤ 現在の伊豆市の所蔵品は、他施設へ貸し出しを行うことがあるようですが、その場合の貸出費用は発生しているのでしょうか。また輸送費用などの負担はどのようにしていますか。</p> <p>⑥ 貸出による収益はあるのでしょうか。</p> <p>⑦ 検討中の現在の美術品の管理はどこでどのように管理されているのでしょうか。</p> <p>⑧ 貸出をすることでの伊豆市の PR と文化交流は進んでいますか。具体的にどのような交流がありましたか。また、PR、交流につながったと思われることはどんなことがあるのでしょうか。</p>	

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>⑨ もともと、寄贈者と旧修善寺町との間で、美術館を建設し展示活用していくこととなっていたことから、定期的に旧修善寺郷土資料館で展示公開してきたが、同資料館が、伊豆半島ジオパークの中央拠点としてオープンしたことから、市内では日本画展示のできる環境が整った公施設がなくなったとホームページに記載されていますが、美術品展示について「ジオパークにするので新しく美術館建設を進める」などの交渉やお考えはあったのか、何か取り決めなどはされたのでしょうか。</p> <p>⑩ 答申書には修善寺地区の意見交換会の掲載が見当たりませんが、修善寺地区では開催していないのでしょうか。</p> <p>⑪ 修善寺郷土資料館がなくなったことで、「中伊豆歴史民俗資料館」が「伊豆市資料館」となりましたが、旧修善寺郷土資料館で展示していた作品の展示も行っているのでしょうか。</p> <p>⑫ 伊豆市所蔵美術品のデジタルミュージアムほどのくらいの閲覧があるのでしょうか。</p> <p>⑬ その閲覧を促すPRはしているのでしょうか。</p> <p>⑭ 伊豆びとを育てるという観点から、伊豆市の文化的財産の認知度を上げ、教育の中でも市で活躍をした著名人について学ぶことは大きな財産となると思います。小説など文豪の活躍は、国語などで身近に学ぶことができ、書物は自ら手に取り読むことで、作者の世界観に触れることができますが、美術品となると、本物を見るためには、その実物がある場所に足を運ばなければなりません。本の作品集やデジタルでの鑑賞も可能ですが、本物を直接見ることは、筆使いや、色合い、構図、経年劣化も含め、作者の息づかいがそこに見える感動があります。修善寺温泉で、何を感じ、</p>	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2. 伊豆市の観光施策について	<p>どのような思いで制作されたのか、郷土の歴史と共に作家の活動もあります。身近にこれほど多くの著名な作家がいて、それらの作品が今もなお市内に所蔵されておりいつでも見ることが可能な環境は、未来の伊豆市の感性豊かな伊豆びとを育てる観点から、郷土の宝の美術館は必要と感じていますが、教育の観点からはどのようにお考えでしょうか。</p> <p>⑮ 観光地の観点から美術館の在り方はどのようにお考えでしょうか。美術品の本物を見るためには、その場に足を運ばなければなりません。全国には〇〇ゆかりの地というフレーズでその土地の強みを生かし誘客している地域が沢山ありますが、ゆかりの地であり、本物の作品も見ることができるというのは大きなメリットであると考えますがいかがでしょうか。</p> <p>昨年大河ドラマを受けて、今でも根強い人気のある北条義時をはじめとする登場人物。中でも、北条政子、源頼家(みなもとのよりいえ)、源範頼(みなもとののりより)のゆかりの地を訪れる人が多いと聞きます。今年は、新型コロナの行動制限も解除され、多くの人が修善寺の頼家祭りに期待を寄せていましたが、人手不足に伴い開催できなかったと聞いております。頼家祭りは、X(旧 Twitter)で「#エア頼家まつりエンジョイサマー2023」というハッシュタグが流行し、開催できなかったことを忍ぶ投稿がたくさん上がりました。</p> <p>① せっかくのチャンスを無駄にしないためにも、こういった絶好の機会を生かせるように、伊豆市と観光協会など協力して開催していくことはできないでしょうか。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>② 新型コロナ感染症で大きな打撃を受けながらも乗り越えてきた伊豆市の観光産業ですが、現在は大河の影響もあり、多くの観光客が戻ってきていますが、旅館業をはじめとする観光産業でも人出不足が深刻な状況にあると考えています。この現状を市長としてどのように分析していますか。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 11月 15日

伊豆市議会議長 様

議席番号 10 議員名 間野 みどり

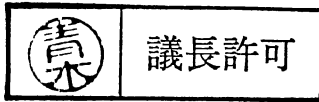
No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ( )	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 地域に残る文化の伝承を守りませんか	<p>今年本当に暑い夏でした。今、地球上に起こっている気候変動、地球温暖化はすさまじく、得体の知れない恐ろしささえ感じます。</p> <p>しかし、やはり日本には四季があり少しずつ過ぎやすい秋がやって来ました。</p> <p>そんな中、まだまだコロナウイルスは収まらず、その上インフルエンザウイルスの流行、いろいろな意味で私たちは試練を受けているとしか思えません。</p> <p>このような大変な中でも、地域はコロナに負けず、少しずついつもの生活に戻そうという努力を感じる事があります。その1つが地域イベントの復活です。</p> <p>地域の行事等、3年ぶり4年ぶりということに戸惑いを示している地域も多いようですが、多くの地区で活動し始めたと聞きました。しかし、その中で問題点もあがってきたと聞きました。</p> <p>問題点として、伝承する人の不足、少子化により演じる人の不足、神輿に対しては担ぎ手の不足、また古い風習と新しい考えとのギャップの戸惑い等があがっています。</p> <p>令和3年12月定例会で、将来の子どもたちのために、伊豆市文化協会でも地域の伝承すべきものをDVDに残して伝えている事を発言し、学習に是非役立ててくれるよう頼みました。</p>	市長 教育長



件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2. 昔の災害地の見直しを	<p>市長の考えている教育は、将来の子どもたちへの投資だと常々おっしゃっておりますが、地域に残る文化の伝承も、同じくこの地に生きる人々の心の財産だと常々思っています。文化を引き継ぐ事、地域の年中行事等、後世に残すために質問をします。</p> <p>① 市にはどれだけ伝承すべき伝統芸能があると考えますか。</p> <p>② 先に述べたように、今様々な問題点を抱えています。それはどのように捉えていますか。</p> <p>③ 今後、市として、人的、補助金、情報の伝達等、サポート出来る事があると思いますか。</p> <p>④ 文化の伝承は、まちづくりにも関係すると考えますか。まちづくりから見てどのように考えていますか。</p> <p>⑤ 今後の文化継承に対して、地域や市だけではなく、教育機関等との連携を考えられますか。(例：学校で三番叟等を実際に演じてもらう等)</p> <p>⑥ 前に述べたDVDの活用法で、学校の総合学習等に積極的に取り入れてもらい、広く知ってもらおう考えはお持ちですか。</p> <p>今年の9月、いつものように防災訓練が行われました。コロナウイルスもまだ落ち着かず、集合訓練にとどまりました。</p> <p>友人との帰り道、ふと友人が、「昔、この神戸川も大変な災害があったよね」と言いました。</p> <p>私の住む中神戸地区は、昭和5年11月26日に北伊豆地震（マグニチュード7.3）に見舞われ、今の虹の郷近くにある堤が崩壊し、上中神戸地区で、死者22人、負傷者29人の大きな被害があったと聞いています。</p> <p>皆、年齢を重ね、昔の事はなかったかのように過ごして</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>いますが、東日本大震災の時も、昔の津波の到達地点を知らせる石碑等によって、助けられた人が何人もいたと聞きました。</p> <p>今日、建築や土木基準も進み、その頃とは違い昔のような事はないと信じながらも、もしかしたらのために、再認識も必要だと思いました。</p> <p>市内では、狩野川台風をはじめ、今まで多くの災害がありました。その場所は復旧工事が行われ、現在、多くは私たちが生活の中で使っています。</p> <p>そこで以下について質問します。</p> <p>① 今、伊豆市では、移住にも力を入れていると思います。かなりの方々が移住した中、心配を助長させてしまうのではと思いますが、移住にあたっての説明等で、過去の災害をどのように伝えていきますか。</p> <p>② 一方で、地元の方々にも伝えていく必要があると思いますが、どのように考えていきますか。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 11月 15日

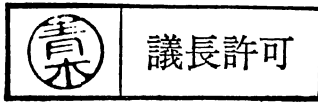
伊豆市議会議長 様

議席番号 3 議員名 鈴木 優治

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 ( <input checked="" type="checkbox"/> 一括 ・ 分割 ) ※発言予定時間 ( <input checked="" type="checkbox"/> 20分 ・ 30分 ) ②質疑 ③討論 ( 反対 ・ 賛成 ) ④その他 ( )
発 言 の 要 旨	
件 名	内 容
修善寺地区4小学校の再編について	<p>3月一般質問にて義務教育(小学校、中学校)の将来をどのように描くか。とさせていただきます。その際修善寺地区4小学校の再編についての議論を開始する、令和5年度の始まる期に児童保護者に対しアンケートを実施し議論開始の第一歩とする。との回答であったと理解しています。</p> <p>平成23年中伊豆地区、平成25年天城湯ヶ島地区、平成30年土肥地区と小学校の再編実績はあるわけですが。それぞれに地区により再編については根拠理由の違うところではあると思いますが。大切な事は将来を担う子供たちの為に有意義な形であるべきと思います。</p> <p>修善寺小学校発行の“だるまっ子”に伊豆中学校開校に向けて～三校合同修学旅行～の記事を目にしました。記事より一部抜粋ですが『現在の5年生は伊豆中学校の一期生になります。市内にある小学校6校に在籍する子供たちが伊豆中学校で一同に介することになります。修善寺地区にある小学校四校のうち、本校を含め熊坂小、修善寺東小は児童数が100名に満たない小さな学校です。三校とも小さな学校の特色を生かし、日々の教育活動を積み重ねてきています。小さなコミュニティの中でもコミュニケーション能力やチャレンジする力の育成に励んでいます。しかし大きな集団で力を発揮できないことや集団でのコミュニケ</p>
	答 弁 を 求める者
	市長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>ーション能力に課題がないとは言えない状況にあります。そこで、三校の校長が集まり、課題解決に向け、小さな学校で協力してできることはないかと考え、三校による合同修学旅行の実施を検討することにいたしました。三校の子供たちには7月にアンケートを実施し、75%以上の子供たちが「3校での修学旅行を希望する」と回答しました。その結果を受け、令和6年度の修学旅行は三校合同で実施することに舵を切りました。——（中略）——もちろん、修学旅行だけの交流ではなく、修学旅行前後での交流を今後計画していきます。現在では現5年生による交流を中心に考えていますが、自然教室の合同実施や他学年での遠隔授業などを順次、実施する予定です。</p> <p>子供たちにとってこの取り組みが伊豆中学校進学への足がかりとなれば、——後略——』</p> <p>保護者への通信記事です。この事が修善寺地区4小学校の再編と結び付くとは思いませんが、子供たちの為に小学校の現場でも尽力いただいていると感じました。</p> <p>修善寺地区4小学校の再編について抱える課題は多いと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊豆市の掲げる“子育て全力宣言”は物心両面でのサポートがされているか。小学生の現状認識を行政はどのように承知しているか。</li> <li>・伊豆市公共施設再配置計画の対象施設ではあるが令和3～令和12年度長寿命化改修時期の表記のみ、つまり小学校の再編は一言も触られず。</li> </ul> <p>等々行政の縦割りの弊害を感じるのは、私だけでしょうか。そこで伺います。</p> <p>① アンケートはいつ実施され、アンケートの中身は、集計はされたのか、伺います。</p> <p>② 行政としての目途（時期）は、持ち合わせていますか。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 11月 15日

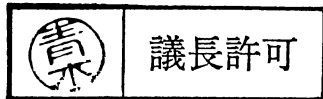
伊豆市議会議長 様

議席番号 15 議員名 永岡 康司

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 ( <input type="checkbox"/> 一括 <input checked="" type="checkbox"/> 分割 ) ※発言予定時間 ( <input type="checkbox"/> 20分 <input checked="" type="checkbox"/> 30分 ) ②質疑 ③討論 ( 反対 ・ 賛成 ) ④その他 ( )	
	発 言 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
松原公園指定管理 について	<p>平成 29 年 5 月「海と共に生きる観光防災まちづくり推進計画」が策定され、現在、松原公園津波避難複合施設も順調に計画通り進んでいます。</p> <p>海水浴等観光客、公園利用者、地元住民が安全に避難が可能となり、ふだんは地域住民また観光客が楽しんで交流できる場としての整備が進められています。この度、津波避難タワーの名称が決定しました。</p> <p>【テラッセ オレンジ トイ】</p> <p>令和 6 年 4 月の完成を目指して、訪れる多く人たちに親しみのある施設として、安心・安全な施設であって欲しいと思います。</p> <p>そこで確認の意味で、次の項目についてお聞きします。</p> <p>① 松原公園駐車場の通年有料化について、今までは夏季期間（7月～8月）となっていました。通年有料化した経緯の説明を求めます。</p> <p>② 公園の駐車場には、週末を中心に夜間駐車や車中泊が多く、近隣住民に迷惑をかけているといわれますが、いつ頃どのような迷惑行為があったか、お聞きします。</p> <p>③ シーズンにより料金設定を変更されるとしていますがハイシーズンとオフシーズンの収入額をどの様にとらえていますか。</p>	市 長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>④ 株式会社土肥ノベーションから応募時に事業計画が提出されていますが、指定管理料について謳われており、伊豆市としてこの計画を遵守しますか。</p> <p>⑤ 商業施設運営について、3階の飲食店が11時から15時と17時から22時の営業となっていますが、公園前にある飲食店との関連をどの様に考えていますか。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

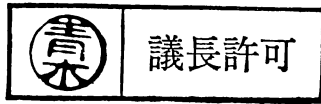
令和5年11月16日

伊豆市議会議長 様

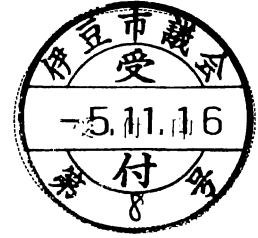
議席番号 8 議員名 星谷 和馬

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	① 一般質問 (一括・分割) 発言予定時間 ( 20分 ・ 30分 ) ② 質疑 ③討論 (反対・賛成) ④ その他 ( )
発 言 の 要 旨	
件 名	内 容
公共施設のあり方	<p>伊豆市の課題は、人口減少対策、地場産業の強化、そして企業誘致です。持続可能な伊豆市を維持するには、次年度の予算は、これらを最重要施策として執行する必要があると思います。さて市内の公共施設は4町の合併により余りにも多く有り、老朽化、利用者の減少等により統廃合は避けて通れません。丁寧に説明をして理解を得ることが大切です。そして速やかに統廃合をして固定費の削減を計る。平行して跡地は有効活用をする。地域、市の活力にもなります。</p> <p>総務経済委員会は、去る10月11日(水)、所管する市内団地15箇所を視察しました。中伊豆、土肥地区は各1箇所、修善寺地区は各小学校区毎に1箇所、天城湯ヶ島地区はなんと9箇所もある。建設当時は必要不可欠であったとしても、今となっては利用者が少なく存在意義が薄くなっています。</p> <p>視察した施設とあわせて質問します。</p> <p>①市内団地の統合と課題 ②旧橘保育園、宅地開発 ③旧さくら保育園、開発進捗 ④天城会館はどうしますか ⑤修善寺総合会館、課題と方向性 ⑥修善寺虹の郷、活用方向性</p>
	答 弁 を 求める者 市長



# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 11月 16日

伊豆市議会議長 様

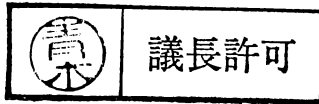
議席番号 14 議員名 三田 忠男

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 ( <input checked="" type="checkbox"/> 一括 ・ 分割 ) ※発言予定時間 ( 20分 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 30分 ) ②質疑 ③討論 ( 反対 ・ 賛成 ) ④その他 ( )
発 言 の 要 旨	
件 名	内 容
1.伊豆市の未来に向けた政策の進展状況や新たな事業展開について	<p>昨年12月議会で、中伊豆地区の現状と課題、官民一体となった協働作業で、伊豆市の地域活性化を図りませんかと一般質問を致しました。過去には、平成27年9月議会、令和2年12月議会、令和3年9月議会と質問しており、進展具合の確認、検討するとの答弁の検討結果を確認してきました。以下の項目につき、質問致します。</p> <p>① 中伊豆温泉病院移転開業地の下白岩地区の地域開発の具体案は、との質問に「具体案は無いが、地域と一緒に考えたい」と答弁していますが、その後の取り組みについて伺います。</p> <p>② 小川区の、温病跡地、橘保育園跡地、中伊豆交流センターについて質問し「厚生連と検討していきたい。橘保育園については事業の適切な時期を判断したい。交流センターは本館及び保健センターを解体し、浴室等に新たな窓口と休憩室を増設する設計中」と答弁していますが、進捗状況を伺います。</p> <p>③ 八幡区を中心とした学校の在り方等の質問に対し、教育長は「中学校の跡地利用の可能性を含めて検討する時期に来ている」と答弁していますが、検討結果を伺います。</p> <p>④ 八岳地区の、萬城の滝周辺開発、わさびの郷構想、小学校跡地、公共交通機関再編等伺いましたが、「地元</p>
	市長 教育長



件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>住民の意見を取り入れて検討していく」との答弁をいただきましたが、具体的な協議内容、進展具合を伺います。</p> <p>⑤ 伊豆スカイラインゴルフ場太陽光事業について伺いましたが、「関係者の理解が得られるよう十分説明を行うよう指導していく」の答弁がありましたが、現況はいかがな申請状況・段階になっていると認識していますか。</p> <p>⑥ 冷川地区の県道の拡幅、セブンイレブンに対する行政対応について質問し、「関係地権者への丁寧な説明事業への協力をお願い、日常生活面への支障が出ないよう必要な支援策を考えていきます」との答弁がありましたが現状はいかがでしょうか。</p> <p>⑦ 中伊豆地区の公園整備、六仙の里公園の将来構想について伺い、「市民の憩いの場、交流の場、レクリエーションの場として市民公園としての価値を高めていきたい」と答弁がありました、具体的な取り組み実績を伺います。</p> <p>⑧ ここからは、新たに質問致します。市長が思い描いている、伊豆市の未来づくりのために行政組織の再編や、職員の人材確保・期待する職員像について知見を伺います。</p> <p>⑨ 修善寺地区の義務教育の在り方に関する現状の認識、期待する将来像について市民・教育長に伺います。</p> <p>⑩ 今後取り組まれなければならない課題は数多くあると思いますが、一番力を入れて取り組みたい行政課題・教育課題について市長・教育長に伺い、最後の質問といたします。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 11月 15日

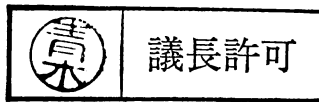
伊豆市議会議長 様

議席番号 4 議員名 飯田 大

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 ( <input checked="" type="checkbox"/> 一括 ・ 分割 ) ※発言予定時間 ( <input checked="" type="checkbox"/> 20分 ・ 30分 ) ②質疑 ③討論 ( 反対 ・ 賛成 ) ④その他 ( )	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
「クリーンセンターいず」と燃やせるゴミ処理の実態について	<p>「クリーンセンターいず」は平成 27 年 4 月に伊豆市・伊豆の国市により廃棄物処理組合として設立され、7 年 9 か月後の令和 5 年 1 月より稼働しました。伊豆市の緑豊かな佐野地区の風景にマッチし、環境と共生し地域に開かれ周辺環境の保全に配慮され、さらにごみ発電システムを備えた施設です。</p> <p>伊豆市内をドライブすると道路支障木の除去や除草が進み、安全で快適な走行ができます。例年行われている狩野川クリーン作戦での清掃作業では明らかにゴミの量が減ってきており、伊豆総合高校では修善寺駅前周辺の清掃活動が継続されゴミの少ないきれいな伊豆市になりつつあります。</p> <p>令和 5 年に改訂され、市内各戸に配布された「ごみの出し方便利帳」は大変見やすく詳細な分別帳であり、市民に対するゴミ出しルールが周知され遵守されています。</p> <p>今後さらに地球温暖化対策に沿うごみの減量化、省力化、有効活用を推進する対策が求められます。そこで、収集から「クリーンセンターいず」で処理する燃やせるごみの実態について伺います。</p> <p>① 市内のゴミの収集はどのような体制で行っていますか。</p> <p>② 集積所のごみの回収から「クリーンセンターいず」への搬入までの間トラブルや課題はありますか。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>③ 事業所、別荘住まい、観光客のごみはどのようになっていますか。</p> <p>④ 「クリーンセンターいず」は発電設備を設置しているが、今年度の実績はどのようになっていますか。</p> <p>⑤ ごみ出しのルールを通じた分別の推進やごみの減量化、の意識を高めるためにどのような取り組みを行っていますか。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 11月 16日

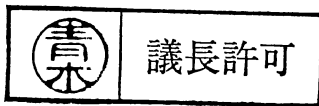
伊豆市議会議長 様

議席番号 5 議員名 黒須 淳美

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問(一括・分割) ※発言予定時間(20分・30分) ②質疑 ③討論(反対・賛成) ④その他( )	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
伊豆市の次代を担う子どもたちのために新中学校(伊豆中学校)を含めた市内の学校の教育環境づくりをどのように考えますか	<p>本年7月に新たに着任されたばかりの鈴木教育長には、令和7年4月開校予定の伊豆中学校へのスムーズな移行のために、今正に多くの時間を割いて難問や課題に直面されていることと思います。</p> <p>現在、伊豆中学校は建設工事も進みその姿を少しずつ現しつつあります。また校名や制服の選定も順調に進み、伊豆市民にとっても、いよいよ現実味を帯びてきたのではないのでしょうか。</p> <p>3つの中学校が1つになるという大きな変化をこれから体験する私たちにとって、一番重要だと考えるのは、子どもたちの教育環境についてだと思えます。</p> <p>伊豆市は現在、令和3年度からの第2次伊豆市総合計画の後期基本計画に基づいて動いていますが、その重点目標の1番目が「少子化対策と次代を担う人材の育成」です。</p> <p>これが5年前に出された前期基本計画の改訂版を見ますと、この時点では5番目に位置付けられており、1番目は「魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保」となっていました。</p> <p>まさにこの重点目標の逆転は喫緊の課題である少子化対策に真正面から真剣に、かつ迅速に取り組むことの表れであり、伊豆市にとっての正念場でもあるといえます。</p>	市長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>「次代を担う人材の育成」は少子化対策の柱ともいえる重要な施策であり、これから始まる伊豆中学校での教育は大きな役割を担っていると考えられます。</p> <p>そこで、以下について伺います。</p> <p>① 伊豆中学校における教育について、変化の激しいこれからの時代を生きていく子どもたちにとって、必要な学びとはどのようなものと考えられ、そのためにどういった手立て、教育を行っていきたいとお考えですか。</p> <p>② 教室に入れない子どもや、様々な特性を持った子どもへの対応など、伊豆中学校での教育環境づくりをどのように進めていく予定ですか</p> <p>③ 伊豆中学校開校へ向けた取り組みと同時に、あと1年4か月で閉校する3中学校について、現在、学校や教育委員会ではどのように閉校へ向けての取り組みが進められていますか。</p> <p>次に市内全体に目を向けたとき、子どもたちの健やかな発達には、こども園から中学までそれぞれの発達段階に応じた支援や教育が継続的に行われることが重要です。</p> <p>伊豆市総合計画後期基本計画においては、「教育の充実」という項目の中に「多様化する社会の中で良識ある一人の人間として成長していけるための教育環境づくりを展開していきます」と明記されていますが、そこに述べられている「新時代の新たな学校づくり」についてどのように実行していかれるのかお考えを伺います。</p> <p>④ 市内の保育園、こども園、そして小学校、中学校(小中一貫校)との連携強化について</p> <p>⑤ 不登校やいじめなどの状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その原因の分析と対策</li> <li>・学習支援教室の現状や課題</li> </ul> <p>⑥ 英語教育への更なる取り組み</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和5年11月15日

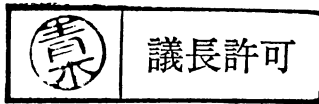
伊豆市議会議長 様

議席番号 12 議員名 小長谷順二

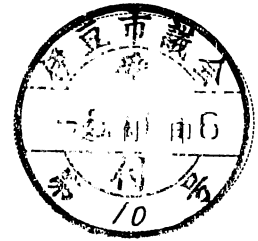
No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ( )	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1.特殊詐欺やフィッシング詐欺等の現状と課題	<p>静岡県警が、令和4年に認知した特殊詐欺件数は417件確認され、前の年より43件増加しました。特殊詐欺の中でも「架空料金請求詐欺」や「還付金詐欺」などが増加しており、被害額は9億429万円に上り、前の年より1億3,277万円増加しています。</p> <p>特殊詐欺の被害全体に占める65歳以上の高齢者の割合(高齢者率)は、引き続き高水準で推移しており、特に、オレオレ詐欺では96.9%、還付金等詐欺では84.6%と、高齢者率が極めて高く、高齢者の被害防止が喫緊の課題となっています。</p> <p>フィッシング詐欺とは、銀行やクレジットカード会社など実在の金融機関名を使って偽のメールを送信し、言葉巧みに偽のサイトへ誘導して、IDやパスワード、銀行口座等の情報を盗み取る手口のことです。そのほか、宅配便等を装ったショートメールを送る手口もあります。恐らくこの議場の中にいるどなたもが、このフィッシングメールを受け取り、不安な思いに駆られた経験があると思います。特にネット初心者や高齢者の方はこうしたフィッシングメールにだまされてしまう可能性が高いと言われています。</p> <p>2023年7月5日のNHK NEWS WEBによると、偽のサイトなどに誘導し個人情報などをだまし取るフィッシング詐欺に関する報告件数についてフィッシング対策協議会によると、先月1か月の報告件数は、過去最高だった前の月よりさらに3万6,000件ほど増えて、14万9,714件となり、2か月連続で過去最高を更新しているという深刻な状況があるので次の3点について質問します。</p>	市長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>2.市制 20 周年 を迎えるにあた っての所感は</p>	<p>① 特殊詐欺、フィッシング詐欺の被害額及び被害件数の推移 ② 特殊詐欺、フィッシング詐欺対策の現状と対策、課題は ③ 子どもを狙ったネット詐欺の現状と対策</p> <p>平成 25 年 8 月 27 日に市政 10 周年を迎えるにあたり的一般質問 を行いました。</p> <p>市長は地域づくり協議会を提案するなど、未来づくりセッション では世代を超えた私たちが楽しくなるような、幸福感を感じられる ようなまちづくりをやっていきたい、そんな事業を来年 1 年間でで きないかなど、今市役所の中でも検討させ、10 月には市内の各種団 体の代表の方々にもお集まりいただいて、10 周年事業というものを オール伊豆体制でやっていきたいと考えているとの答弁でした。</p> <p>伊豆市が誕生した平成 16 年の人口は 37,869 人でしたが、約 10 年後の平成 25 年 8 月には 33,739 人、令和 5 年 9 月 30 日現在は 28,383 人で高齢化率はこの 20 年で 26.10%→41.96%になっていま す。市政運営は総合計画に基づき進めて行くと思いますが 20 周年 を迎えるにあたり改めて市長の所感を伺います。</p>	市 長
<p>3.2024 年問題 にどう向き合う か</p>	<p>長時間労働の是正や多様で柔軟な働き方の実現をめざし 2018 年 に制定された働き方改革関連法は 2019 年から順次適用されてきま しましたが、5 年の猶予期間が設けられていた自動車運転業務、建設業、 医師について 2024 年 4 月から時間外労働の上限規制が適用されま す。</p> <p>生産年齢人口が減少し、社会全体の人手不足が深刻な中、労働環 境の厳しさが指摘されてきた分野では、この規制によってさまざま な問題が起こることが予測され、業界のみならず、社会としてどう 向き合うかが問われています。</p> <p>すぐそこまで迫っている 2024 年問題に地域や自治体はどう対応 していくのか伺います。</p>	市 長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 11月 16日

伊豆市議会議長 様

議席番号 16 議員名 杉山 誠

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">分割</span> ) ※発言予定時間 (20分・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">30分</span> ) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ( )	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 物価高騰から市民生活や事業者を守る取り組みについて	<p>日本社会は今、コロナ禍で苦しかった3年間を乗り越え、経済状況は改善しつつあります。</p> <p>税収も3年連続で過去最高となり、今年の賃上げ率は30年ぶりの高水準となりました。しかしそれは大企業が中心で、実質賃金は物価高騰に追い付いていません。</p> <p>まして、中・小規模企業がほとんどの当市では、物価高の影響は多くの市民に及んでいます。</p> <p>長引く物価高を乗り越えるため、政府は11月2日に新たな総合経済対策を決定し、物価高に負けない持続的な賃上げへの取り組みを加速させ、税収増など成長の成果を国民に還元するとしています。</p> <p>同時に、地方公共団体に対しては、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、地方公共団体が地域の実情に合わせて、必要な支援をきめ細やかに実施できるよう「重点支援地方交付金」を追加し、「低所得世帯支援枠」について、1世帯当たり7万円を追加する旨が盛り込まれたことを踏まえ、年内の予算化に向けた検討を速やかに進めていただきたいことと、「推奨事業メニュー」についても、効果的と考えられる支援事業の検討を速やかに進めていただきたいと依頼しています。</p> <p>この推奨事業メニューについては、「生活者支援」と「事業者支援」について、それぞれ推奨事業メニューが示され</p>	市長



件名	内容	答弁を 求める者
2. 本市における GIGA スクールの 課題と対策	<p>ていますが、これらの推薦事業メニューよりもさらに効果があると考えるものについては、実施計画に記載して申請可能としています。</p> <p>物価高騰から市民生活や事業者を守るため、重点支援地方交付金をいかに有効に活用していくか、市長の考えを伺います。</p> <p>一人1台の端末と、高速大容量の通信ネットワークを整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、子どもたち一人ひとりに公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現を目指して進められてきたGIGAスクール構想ですが、一人1台端末の利活用について、地域間・学校間で格差が生じています。</p> <p>端末の更新にあたっては、初期導入時と同様に国費での整備が求められるところですが、それには各自治体で、一人1台端末の活用を強力に推進する必要があります。</p> <p>本市の学校における利活用状況について以下伺います。</p> <p>① 令和4年4月に行われた全国学力・学習状況調査で、一人1台端末の活用状況について回答したと思いますが、全国あるいは県内の学校と比較して、利活用の現状をどのようにとらえていますか。</p> <p>② 不登校児童生徒への一人1台端末を活用した授業の配信や、心や体調の変化の早期発見のための活用はされていますか。</p> <p>③ 情報モラル教育・リテラシー教育は行われていますか。</p> <p>④ 教員の長時間労働が問題視されているが、ICT活用による校務効率化はどこまで行われていますか。</p>	教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>3. 市民の利便性向上のための窓口改革「書かない・行かない窓口」の推進について</p>	<p>行政手続きや書類の発行に長時間待たされることや、申請書記入のわずらわしさなど、利用者の負担軽減のための窓口改革が各自治体で進められています。</p> <p>当市でも徐々に進められているとは認識していますが、さらなる改革を進め、利用者の利便性向上と業務の効率化を目指すべきと考えます。</p> <p>伊豆の国市では昨年10月より、各種手続きについて、スマートフォンやパソコンから申請を可能とするサービスを順次進めているとのことですが、「書かない窓口」「行かない窓口」の構築について、当市の現状と今後の計画はいかがですか。</p>	<p>市長</p>